



ユニオンニュース・掲示回覧用

私たちの地域合同〔第21回〕

天使の園分会の巻 (その1)

組合の名前は天使の園分会ですが、今の保育園名は「生野こもれび保育園」といいます。組合ができたときの名前を現在も使用しています。

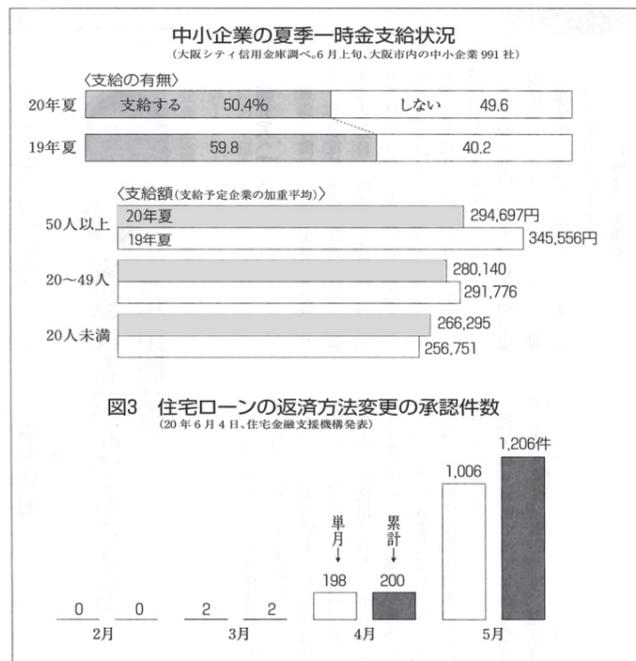
この分会は1977年に誕生し、めぐみ保育園分会、望之門分会につぐ3番目の保育園での結成になり、「保育園は地域合同で」という流れを作った分会でもあります。

もちろんこの園は、組合以上の古い歴史を持っています。明治以降の長い歴史を振り返ると、この分会の意義がまた一つしっかり見えると思います。

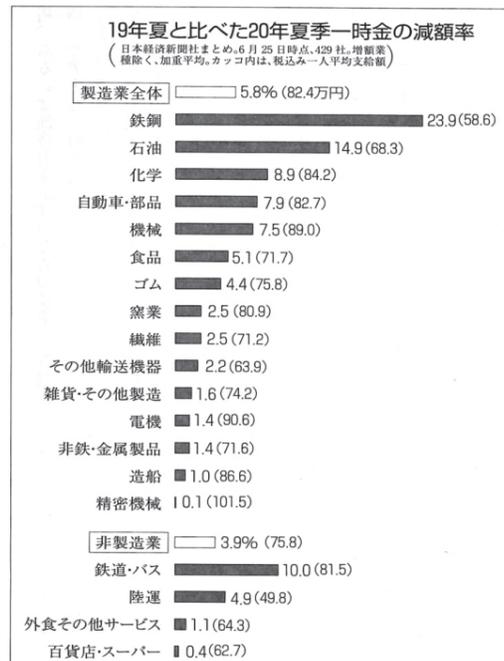
この保育園は、中川(今はありません)という川沿いの土地に、地元の有力者が(18代目木村権右衛門-生野の名士)まったく私的な理由で、当時珍しい幼稚園を開設したことに始まります(1900年ごろ)。

その後、時期は定かではありませんが、その名が「昭和東幼稚園」となり、戦中まで続きます。戦争で、地域の小学校も空襲を受け、焼けてしまう中、どのように幼稚園がなくなったのかはわかりません。(続く)

コロナに負けるな その2



上記の図で見られるように、一部の調査では製造業でも最高24%の減額になっており、中小企業では支給しない企業が9.4%増え、額でも50人以上の企業を見れば、51000円(15%)の減額になっています。



確かに企業業績が一時金に影響するのは仕方ないですが、今や、一時金も大切な生活資金です。簡単に減らされては困ります。今、あっさり減額を認めると、冬はさらに厳しい結果が予測されます。先を見据えた交渉をしましょう。

大阪府 夏季一時金調査

【集計組合数:475組合(加重平均)】

【調査時点:7月16日現在 最終】

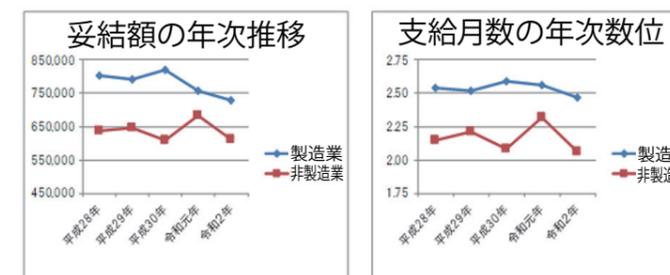
- 妥結額 677,726円 (前年:732,641円)
- 支給月数 2.29か月(前年:2.48か月)

【調査結果の特徴点】

- 妥結額は、2年連続で前年を下回り、7年ぶりに70万円を下回った。
- 企業規模別では、中小、中堅、大手の全ての規模で前年を下回った。
- 産業別では、製造業、非製造業ともに前年を下回った。

新型コロナ感染拡大で一時金減額

大阪府の調査でも大きな減額になっています。とりわけ300人から999人の中堅企業の落ち込みが大きかったようです。



	平均賃金	引き上げ額
2019年度	964円	28円
2018年度	936円	27円
2017年度	909円	26円
2016年度	883円	25円
2015年度	858円	20円
2014年度	838円	19円
2013年度	819円	19円
2012年度	800円	19円
2011年度	786円	7円
2010年度	779円	17円
2009年度	762円	14円
2008年度	748円	17円

最低賃金

中央審議会は11年ぶりに目安を示さず大阪でもゼロか!?

毎年10月1日をめどに引き上げられてきた最低賃金ですが、今年はコロナの影響を背景に使用者側が、据え置き(ゼロ)を強く主張しました。審議会もそれに追随し、リーマンショック(08年)以来、目安額を示しませんでした。しかし、リーマンショックの年も大阪では14円あがっています。(右の表参照・青字)

大阪でも今回は経営側はかたくなで、大阪での審議会では、1円上げるかあげないかで、8月4日の決定は延期。20日の総会まで、異例の決定延長になっています。いずれにしても、1円か0円の決着になりそうです。

残念ながら……

予定していた
8月29日~30日の
一泊研修会は
中止します。

